

■納付金等の試算結果

愛知県において、平成29年度に新制度を導入すると仮定して、国保事業費納付金等の試算が実施され、その試算結果が提示されました。

■国保事業費納付金 15億148万円

	平成29年度 試算額		1人あたり額 5万6千円増	(参考)平成27年度 決算額	
		1人あたり額			1人あたり額
保険税 賦課額	14億3601万円	14万5千円	←	8億8763万円	8万9千円
保険税 収納額	13億4210万円	13万5千円		8億4268万円	8万4千円
				+	
			法定外繰入金	2億2140万円	2万2千円
			保険税収納額+法定外繰入金の合計	10億6408万円	10万6千円

納付金を支払うために必要な保険税額

■試算の前提条件・検討課題

★今回の試算結果が平成30年度以降の市町村の実際の負担額を示すものではないこと

- 平成30年度から拡充される国の財政支援:約1,700億円は考慮していないこと
- 納付金の配分方法及び市町村標準保険料率の算定方法の検討
- 激変緩和の条件及び必要規模の検討
- 赤字補てん等を目的とする、法定外の一般会計繰入の削減・解消の検討

■県との共同運営の仕組み ~納付金等

市町村相互の助け合いの仕組み

